

高温傾向で収穫時期が早まる見込み、刈遅れに注意しましょう！

1 収穫時期の判断 ～ 必ずほ場ごとに籾の色を確認し、収穫時期を判断しよう！ ～

(1) 積算気温によるコシヒカリの収穫適期めやす 【アメダスデータから予想されるコシヒカリの収穫適期 8月19日現在】

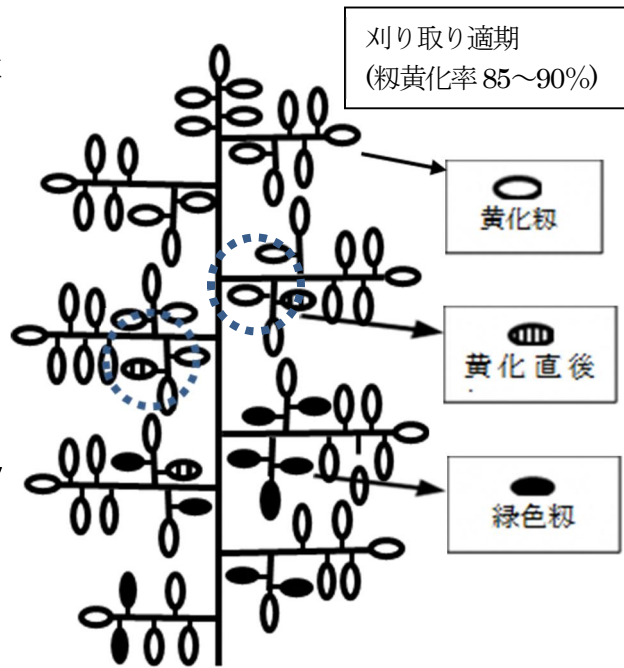
出穂期		7/25	7/28	7/31	8/3
収穫適期のめやす※	糸魚川地区	8/30	9/2	9/5	9/9
	能生地区	9/1	9/4	9/8	9/11

※8月18日までは本年値、
19日以降は平年値で積算
※アメダス測定地点
糸魚川地区：東寺町
能生地区：平

- ・ 本年は高温登熟で、基部未熟粒などの白未熟粒や胴割粒の発生が懸念されることから、積算気温950℃（ただし山間部は1,000℃）をめやすとし、**ほ場ごとに下記を参考に登熟状況を確認して刈り遅れないように**にしましょう。
- ・ ひすい営農センターの農業情報メールで定期的に各地域の積算温度の情報を発信しますので、その数値も参考にしてください。

(2) ほ場ごとの収穫適期の見分け方

- ・ 収穫適期は、穂の中の黄化した籾の割合が85～90%、穂の上から4、5番目の一次枝梗の根元の籾に青みが残る程度です。
- ・ 早刈りは青米・未熟粒の混入増加や収量低下の原因となり、刈遅れは基部未熟粒・着色米・胴割粒が増加して等級低下を招きます。
- ・ 特に、本年は高温の影響により基部未熟粒や胴割粒などが発生しやすい状況なので適期刈取りを心掛けましょう。



フェーン現象が予測される場合は、できるだけフェーン前に収穫を行い、胴割粒の発生を防ぎましょう！
～9月下旬まで「フェーン・コメの高温障害危険度予測情報」を振興局のメールマガジンで配信しています～

2 乾燥・調製 ～ こまめな確認で高品質米への最終仕上げをしよう！ ～

(1) 乾燥

- ・ 生籾は変質しやすいため、**収穫後は速やかに乾燥機に入れ通風**を行いましょう。
 - ・ 手持ちの水分計で随時測定しながら適正水分（14.5～15%）になるよう仕上げましょう。
- ＜水分測定時の留意点＞
- 正確に測定するため、玄米サンプルを常温に冷まし、青米や未熟米を取り除いてから測定する。
 - サンプルング誤差を少なくするため、5回反復で測定する。
 - 水分17%を下回ったら、15～20分おきに測定する。
 - 水分14%以下は食味を低下させるので要注意

※出穂後10日間の最高気温が高温の場合や成熟期にフェーン現象があった場合は、立毛胴割れが発生している可能性が高いので、毎時乾燥速度0.5%以下になるよう送風温度を低くしましょう。

(2) 調製

- ・ 機械の点検・掃除を徹底しましょう。特に籾すり機のゴムロールの間隔は、脱ぶ率が80～85%になるように、0.8～1.2mmに調節しましょう。
- ・ 籾すりは、肌ずれ防止のため籾温度が常温近くまで下がってから行いましょう。
- ・ カメムシによる斑点米被害が多い場合は、色彩選別機による選別をしっかりと行いましょう。

高温乾燥時に乾燥作業を行う場合、張り込み後に通風循環した後、夜間まで半日程度貯留して水分ムラを解消させてから、送風温度を低めにして乾燥しましょう。
高温やフェーン現象が予測される場合には、振興局HPに情報を掲載するので、確認してください！

振興局HPの二次元コード→



3 土づくり ～ 次年度の作付に向けた準備を始めよう ～

(1) 土壌分析に基づいた土づくり

- ・ 土壌分析を行い、不足成分のみを補充することで、資材費を減らしましょう（分析はひすい営農センターにご相談ください）。
- ・ 有機物の施用によって、土壌の保水性や窒素供給力が向上すると、高温等の異常気象の年でも、品質が安定します。稲わら等のすき込みに加え、堆肥の施用も検討しましょう。

施用資材例	主な成分	施用量 (10a 当たり)
越後の輝きソイル ^{マイ} 米スター	ケイ酸・カリ	30 kg
アイアン ^{マイ} 米スター	鉄・ケイ酸	60 kg

(2) 稲わら・籾殻等の秋すき込み

- ・ 秋すき込みは、春すき込みに比べ田植え後のほ場のワキが抑えられるので、わらが分解しやすいよう、地温が高いうち（10月上旬までがめやす）に5～10cmの浅うちですき込みましょう。
- ・ ワキの抑制には鉄を含む土づくり資材（アイアン^{マイ}米スターなど）の施用も効果的なので活用しましょう。
- ・ 籾殻も同時にすき込むことで、安価な土づくりが可能です。籾殻をすき込む量は、そのほ場から得られた籾殻相当量がめやすです。

10月20日まで新潟県農作業安全運動「秋の特別運動期間」実施中です！

① 急な乗り入れなどの危険箇所を事前確認 ②コンバインが詰まったときは必ずエンジン停止 ③作業者と補助者が声を掛け合って位置を確認

『収量・品質向上！糸魚川産米』
「コシヒカリBLエコライス栽培」に取り組みましょう。

お問い合わせ先

JAえちご上越ひすい営農センター TEL 0120-640-184
糸魚川NOSA Iセンター TEL 0120-916-406
糸魚川地域振興局農林振興部 TEL 553-1906
(農業普及指導センター)

糸魚川市農林水産業振興協議会（糸魚川市、JAえちご上越、NOSA I新潟、糸魚川地域振興局農林振興部）